

平成29年度

主要な施策に関する説明書

(一 般 会 計)

(国民健康保険特別会計)

(介護保険特別会計)

(後期高齢者医療特別会計)

(公共下水道事業特別会計)

(農業集落排水事業特別会計)

埼玉県南埼玉郡宮代町

地方自治法第233条第5項の規定により平成29年度に宮代町が執行した主要な施策についてご報告いたします。

平成29年度の一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計の歳出決算額は、総額で約189億5千万円、前年度に比べ約5.6%、金額にして約10億1千万円の増となっています。

その主な要因は、防災行政無線デジタル化更新工事及び小中学校エアコン設置工事等の大規模な繰越事業の実施によるものですが、介護、医療、福祉といったいわゆる社会保障関連経費は、引き続き高い伸びを示しており、他の一般行政経費や新たな行政需要への対応を妨げる要因となっています。

一方、厳しい財政状況が続く中、少子高齢化による人口減少社会にあって、定住人口の増加に向けた都市基盤整備等により、人口の増加と共に町税収入も増加し、これまで以上に自主財源が確保されたところであり、持続可能な財政運営の実現に向け各種施策を推し進めました。

他方、国では、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の「新・三本の矢」の実現を目的とする「一億総活躍社会」の実現に向けて取り組むと共に、地方創生の更なる深化を推進するため、地方版総合戦略に基づき地方公共団体が自主的・主体的に行う先導的な取組に対し支援を行っています。

こうした状況の中、平成29年度は、第4次総合計画後期実行計画の2年目として、重点構想の実現に向け実行計画事業に取り組んだほか、昨年度に引き続き「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた各事業を推進し、地域の資源を最大限に活かしたまちづくりを進めてまいりました。

平成30年度は、皆様の声を聴き、皆様の声を活かし、将来に渡ってこのまちに住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

平成30年 8月30日

宮代町長 新井康之

平成29年度 宮代町一般会計決算における主要施策の成果

平成29年度は、子育て世代の増加及び高齢化等を背景に社会保障関連経費が増加し、引き続き厳しい状況下での財政運営となりました。

歳入では、納税義務者の増加による個人町民税の増並びに新築家屋の増加による固定資産税、都市計画税の増を背景に町税全体では増収となり、また、地方譲与税及び地方消費税交付金をはじめとする各種交付金も交付原資の拡大により増額しました。地方交付税は、普通交付税において包括算定経費の見直し及び基準財政収入額の増等に伴い交付額は減少しましたが、特別交付税の増額により地方交付税全体では増額し、一般財源総額も前年度に比べ増加しました。

歳出では、義務的経費は子育て世代の増加や高齢化を背景に社会保障関連経費等が引き続き増加し、投資経費は繰越事業である防災行政無線デジタル化更新工事や国庫補助を活用した小中学校普通教室等エアコン設置工事等の実施により大幅に増加しました。一方、地方創生関連では、昨年度に引き続き地方創生推進交付金を活用した集会所全面展開によるまちづくり推進事業を実施したほか、新たに地方創生拠点整備交付金を活用した地産地消の拠点施設整備を実施しました。こうした取り組みにより、歳出は前年度に比べ約9億1,953円の増額となり、総額で103億5,994万6千円となっています。

このような中、平成29年度は第4次宮代町総合計画後期実行計画の2年目として、5つの基本構想の実現に向け、実行計画事業に重点を置いた予算執行に務めました。

「構想1 人、活動、地域をつなげる」では、地域敬老会や地域交流サロン、介護予防など地域の人が支えあう活動を支援し、一人ひとりの「顔」が見え、「つながり」を実感できる地域社会づくりを行いました。また、定年退職前後のシニア世代（アクティブシニア）の地域活動への参加支援として、地域活動デビューきっかけづくりイベントの開催、応援情報誌「縁じょい」通信の発行等を行いました。

「構想2 交流人口を増やす」では、インターネット放送局による動画配信サイトを活用した町の情報発信を行うと共に、町の美しい風景や緑豊かな環境を守り、観光や教育に活用するため、里山体験事業としてホテルの夕べ観賞会やツリーライティングを開催し、宮代ファン（交流人口）の増加を図りました。

「構想3 定住人口を増やす」では、定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」、子育て応援ウェブサイト「みやしろで育てよっ」、町内商業施設や雇用情報を掲載した特設サイト「宮代で働こっ」の3つのウェブサイトを効果的に連携させ、情報発信力を強化しました。

都市計画事業においては、道仏地区の周辺道路である都市計画道路 春日部久喜線及び東武動物公園駅西口の都市計画道路 中央通り線の整備を着実に進めると共に、新たに東武動物公園駅東口駅前広場整備計画の事業認可を受け用地取得等を実施しました。

「構想4 産業を結び、活かし、広げる」では、新たな6次化を進めるため郷土の味掘り起こし調査を行い若い世代の嗜好にあった伝統食メニューを提案し、6次化の取り組みを広く町内外へ発信したほか、町のにぎわい作りを考える町民参加のワークショップから誕生した宮代マルシェ（トウブコフェスティバル）を実行委員会形式で開催しました。

「構想5 公共施設の機能と役割の再編」では、宮代町公共施設等総合管理計画に基づき、将来の町立小中学校の規模と配置に関する適正化について検討を行いました。

平成30年度は、引き続き「宮代町第4次総合計画 後期実行計画」及び「宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた事業を着実に進めてまいります。

平成29年度 一般会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款 名	29年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 町 税	3,768,297	34.6	111	66,171
2 地 方 譲 与 税	85,496	0.8	2	△ 409
3 利 子 割 交 付 金	6,070	0.1	0	2,301
4 配 当 割 交 付 金	20,857	0.2	1	5,152
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	22,786	0.2	1	13,214
6 地 方 消 費 税 交 付 金	466,038	4.3	14	27,053
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	35,441	0.3	1	8,381
8 地 方 特 例 交 付 金	27,700	0.3	1	4,219
9 地 方 交 付 税	1,995,646	18.4	59	6,640
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,175	0.0	0	△ 305
11 分 担 金 及 び 負 担 金	226,961	2.1	7	96,916
12 使 用 料 及 び 手 数 料	69,432	0.6	2	1,003
13 国 庫 支 出 金	1,046,299	9.6	31	105,647
14 県 支 出 金	600,360	5.5	18	33,473
15 財 産 収 入	8,458	0.1	0	△ 2,214
16 寄 附 金	98,662	0.9	3	△ 14,806
17 繰 入 金	562,558	5.2	16	47,268
18 繰 越 金	707,506	6.5	21	5,600
19 諸 収 入	219,607	2.0	6	△ 29,145
20 町 債	902,095	8.3	26	350,363
歳 入 合 計	10,874,444	100.0	320	726,522

平成30年3月31日現在人口
33,991人

(単位 千円)

28年度		27年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
3,702,126	36.5	3,649,772	納税義務者の増に伴う個人住民税の増 新築家屋の増に伴う固定資産税及び都市計画税の増
85,905	0.8	86,497	交付原資（国税）の減
3,769	0.0	5,913	交付原資（県税）の増
15,705	0.2	23,867	交付原資（県税）の増
9,572	0.1	24,147	交付原資（県税）の増
438,985	4.3	486,087	交付原資（県税）の増
27,060	0.3	26,039	交付原資（県税）の増
23,481	0.2	20,897	住宅ローン減税対象者の増に伴う交付原資の増
1,989,006	19.6	2,016,704	包括算定経費の見直し等に伴う普通交付税の減 便利バス委託料の増等に伴う特別交付税の増
4,480	0.0	4,848	交付原資の減
130,045	1.3	127,726	埼玉北地区管内広域事業の実施等に伴う分担金の増
68,429	0.7	35,395	施設利用者数の増等に伴う使用料の増
940,652	9.3	1,102,223	都市計画事業の進捗及び小中学校エアコン設置工事の実施 等に伴う国庫補助金の増
566,887	5.6	634,679	社会保障関連経費の増等に伴う県負担金の増
10,672	0.1	90,014	普通財産売払収入の減
113,468	1.1	117,891	ふるさと納税の減
515,290	5.1	435,679	国民健康保険特別会計繰入金及びまちづくり基金繰入金の 増
701,906	6.9	372,573	前年度決算剰余金の増
248,752	2.5	315,142	後期高齢者医療療養給付費負担金返還金の減
551,732	5.4	664,869	防災行政無線デジタル化工事及び小中学校エアコン設置工 事の実施等に伴う増
10,147,922	100.0	10,240,962	

歳出の状況

款名	29年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 議会費	98,326	0.9	3	216
2 総務費	1,980,908	19.1	58	269,073
3 民生費	3,638,914	35.1	107	233,872
4 衛生費	796,304	7.7	23	65,823
5 労働費	3,050	0.0	0	△ 2,089
6 農林水産業費	235,271	2.3	7	△ 4,804
7 商工費	63,383	0.6	2	△ 601
8 土木費	1,134,964	11.0	34	205,724
9 消防費	546,196	5.3	16	28,039
10 教育費	1,093,615	10.6	32	110,197
11 公債費	768,934	7.4	23	14,170
12 諸支出金	81	0.0	0	△ 90
13 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	10,359,946	100.0	305	919,530

平成30年3月31日現在人口
33,991人

(単位 千円)

28年度		27年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
98,110	1.0	107,122	会議録調製委託料の増
1,711,835	18.1	1,700,214	財政調整基金積立金の増
3,405,042	36.1	3,272,359	埼玉北地区管内広域事業の実施等に伴う増 保育所入所者数の増等による子育て関連経費の増
730,481	7.7	739,362	久喜宮代衛生組合負担金の増
5,139	0.1	5,051	勤労者住宅資金貸付金預託金の減
240,075	2.5	161,249	森の市場等改修工事完了に伴う減
63,984	0.7	124,684	起業創業支援ウェブサイト構築完了に伴う減
929,240	9.9	1,239,992	東武動物公園駅東西口周辺の基盤整備及び都市計画道路整備の進捗による増
518,157	5.5	504,555	消防団詰所建替工事の実施等に伴う増
983,418	10.4	958,208	小中学校エアコン設置工事の実施等に伴う増
754,764	8.0	726,090	道仏地区土地区画整理事業及び東武動物公園駅西口周辺整備事業において借り入れた地方債の償還開始に伴う増
171	0.0	170	
0	0.0	0	
9,440,416	100.0	9,539,056	

平成29年度 一般会計歳出性質別決算状況

性 質 名	29年度		増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	
1 人 件 費	1,591,626	15.4	56,739
う ち 職 員 給	1,067,782	10.3	29,928
2 物 件 費	1,593,623	15.4	171,321
3 維 持 補 修 費	59,165	0.6	12,410
4 扶 助 費	1,785,716	17.2	100,282
5 補 助 費 等	1,300,340	12.5	40,873
一部事務組合に対するもの	957,771	9.2	23,904
そ の 他	342,569	3.3	16,969
6 普 通 建 設 事 業 費	956,158	9.2	514,915
補 助 事 業 費	299,561	2.9	199,469
単 独 事 業 費	604,998	5.8	294,401
県 営 事 業 負 担 金	51,599	0.5	21,045
同 級 他 団 体 施 行 事 業 費	0	0.0	0
受 託 事 業 費	0	0.0	0
7 公 債 費	768,934	7.4	14,170
8 積 立 金	530,176	5.1	50,871
9 投 資 及 び 出 資 金	0	0.0	0
10 貸 付 金	6,000	0.1	△ 2,000
11 繰 出 金	1,768,208	17.1	△ 40,051
合 計	10,359,946	100.0	919,530

(単位 千円)

28年度		27年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比(%)		
1,534,887	16.2	1,573,359	職員数の増 給与改定及び退職手当組合特別負担金の増
1,037,854	11.0	1,032,137	職員数の増 給与改定に伴う増（賞与、給料表改定）
1,422,302	15.1	1,441,738	埼玉北地区管内広域事業の実施等に伴う増 便利バス委託料等の増
46,755	0.5	41,099	小中学校及び総合運動公園の施設修繕の実施等に伴う増
1,685,434	17.9	1,604,648	介護給付・訓練等給付費の増 保育所入所児童数の増加等に伴う子育て関連経費の増
1,259,467	13.3	1,291,724	
933,867	9.9	914,241	久喜宮代衛生組合負担金の増
325,600	3.4	377,483	国県補助金返還金の増
441,243	4.7	666,320	
100,092	1.1	283,543	小中学校エアコン設置工事の実施等に伴う増 東武動物公園駅東西口周辺整備の進捗に伴う増
310,597	3.3	382,421	防災行政無線デジタル化工事の実施に伴う増 消防団詰所建替工事の実施等に伴う増
30,554	0.3	356	県道春日部久喜線整備（和戸地内）にかかる街路事業負担金の増
0	0.0	0	
0	0.0	0	
754,764	8.0	726,090	道仏地区土地区画整理事業及び東武動物公園駅西口周辺整備事業において借り入れた地方債の償還開始に伴う増
479,305	5.1	303,488	財政調整基金積立金の増
0	0.0	0	
8,000	0.1	8,000	勤労者住宅資金貸付金預託金の減
1,808,259	19.1	1,882,590	国民健康保険税税率改正に伴う繰出金の減
9,440,416	100.0	9,539,056	

地 方 債 現 在

区 分	平成 28 年度 末 現 在 高 A	平成 29 年度 発 行 額 B
1 普 通 債	2,795,495	464,800
(1) 総 務 債	79,358	253,900
(2) 民 生 債	769,189	
(3) 衛 生 債	521,590	
(4) 農 林 水 産 業 債		
(5) 土 木 債	1,224,500	63,000
(6) 消 防 債		26,100
(7) 教 育 債	119,858	121,800
(8) そ の 他	81,000	
2 そ の 他	5,882,462	437,295
(1) 減 税 補 て ん 債	188,858	
(2) 臨 時 税 収 補 て ん 債	9,544	
(3) 臨 時 財 政 対 策 債	5,684,060	437,295
合 計	8,677,957	902,095

地 方 債 の 借 入 先 別

借 入 先	利 率 別		平成 28 年度 末	平成 29 年度	平成 29 年度	平成 29 年度 末
			現 在 高 A	発 行 額 B	元 金 償 還 額 C	現 在 高 D(A+B-C)
1 財 務 省			4,458,673	137,875	398,120	4,198,428
2 郵 便 貯 金 ・ 簡 易 生 命 保 険 管 理 機 構			343,759		24,530	319,229
3 地 方 公 共 団 体 金 融 機 構			2,879,941	388,520	145,533	3,122,928
4 市 中 銀 行 等			857,165	375,700	100,278	1,132,587
5 共 済 組 合 等			57,419		8,983	48,436
6 そ の 他			81,000		13,850	67,150
合 計			8,677,957	902,095	691,294	8,888,758

高 の 状 況

(単位 千円)

平成29年度 元金償還額 C	平成29年度末現在高 D (A+B-C)	Dの借入先別内訳	
		政府資金	その他
265,888	2,994,407	1,494,799	1,499,608
9,660	323,598		323,598
67,311	701,878	443,988	257,890
33,872	487,718	141,478	346,240
118,856	1,168,644	905,475	263,169
	26,100		26,100
22,339	219,319	3,858	215,461
13,850	67,150		67,150
425,406	5,894,351	3,022,858	2,871,493
41,134	147,724	147,724	
9,544			
374,728	5,746,627	2,875,134	2,871,493
691,294	8,888,758	4,517,657	4,371,101

利 率 別 現 在 高 の 状 況

(単位 千円)

平成29年度末現在高 D の利率別内訳								
1.5% 以下	2.0% 以下	2.5% 以下	3.0% 以下	3.5% 以下	4.0% 以下	4.5% 以下	5.0% 以下	5.0% 超
3,791,215	167,238	221,734	6,364	5,916			5,961	
120,697		198,532						
2,400,810	692,995	9,036	8,141	7,289			4,657	
833,075	299,512							
48,436								
67,150								
7,261,383	1,159,745	429,302	14,505	13,205			10,618	

平成29年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	29年度	28年度	27年度
歳入総額 A	10,874,444	10,147,922	10,240,962
歳出総額 B	10,359,946	9,440,416	9,539,056
歳入歳出差引額 (A - B) C	514,498	707,506	701,906
翌年度へ繰越すべき財源 D	84,972	87,039	200,120
実質収支 (C - D) E	429,526	620,467	501,786
単年度収支 F	△ 190,941	118,681	243,940
財政調整基金積立金額 G	310,821	251,702	129,356
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	172,620	265,524	240,000
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 52,740	104,859	133,296

2 基金の現在高

(単位 千円)

	29年度	28年度	27年度
財政調整基金	1,072,398	934,197	948,019
(主な増減理由) 決算剰余金の積み立てによる増			
減債基金	3,513	3,512	3,508
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
公共施設整備基金	479,677	385,176	253,525
(主な増減理由) 衛生組合新炉建設の財源としての積み立てによる増			
土地区画整理事業推進基金	0	211	211
(主な増減理由) 区画整理事業の進捗に伴う基金の廃止による減			
公設宮代福祉医療センター施設整備基金	4,402	11,422	13,057
(主な増減理由) 医療機器リース料の財源としての取り崩しによる減			
宮代まちづくり基金	144,218	121,482	87,421
(主な増減理由) ふるさと納税の積み立てによる増			
土地開発基金	381,519	381,438	381,267
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
育英基金	31,341	36,784	41,159
(主な増減理由) 小中学校教材教具購入費の財源としての取り崩しによる減			
合 計	2,117,068	1,874,222	1,728,167

※土地区画整理事業推進基金は道仏地区土地区画整理事業の完了に伴い、平成29年度末に廃止しております。

3 財政指標

	29年度	28年度	27年度
実質公債費比率		6.7%	6.6%
将来負担比率		16.8%	28.3%
財政力指数	0.633	0.629	0.624
経常収支比率	93.6%	92.7%	90.7%
実質収支比率	6.6%	9.6%	7.8%
標準財政規模	6,524,271千円	6,461,048千円	6,453,696千円

※財政力指数、実質公債費比率の数値は、過去3カ年の平均値です。

(財政力指数の各年度数値は15ページを参照ください)

4 人口

(単位 人)

	29年度	28年度	27年度
住民基本台帳	33,991	33,840	33,574

5 国勢調査

(単位 人)

	27年国勢調査	22年国勢調査	17年国勢調査
人口	33,705	33,641	34,620
第1次就業人口	315	353	480
第2次就業人口	3,551	3,499	3,802
第3次就業人口	10,861	11,221	11,902
(分類不能)	854	606	302

6 職員数等の状況

	29年度	28年度	27年度
(一般職員) 職員数	171人	168人	168人
平均年齢	45.10歳	45.11歳	44.10歳
一人当たりの給料月額	330,638円	332,409円	328,232円
ラスパイレス指数	94.4	94.9	94.4

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与額を100とした場合の地方公共団体（市町村など）の給与水準を指数で示したもので、ここでは、4月1日現在の指数を記載しています。

第4次宮代町総合計画 後期実行計画

宮代町が10年間のまちづくりの目標として掲げている「みどり輝くコンパクトシティ」を実現するために、計画期間を5年ごとの前期と後期に分け、平成28年度から平成32年度に取り組む事業を後期実行計画としてまとめています。

これらの事業については半年ごとに市民の皆様はその進捗状況をお知らせします。なお、予算執行のあった事業についてはその執行額を掲載しています。

■平成29年度後期実行計画

		平成29年度 進捗状況
地域交流サロン支援事業	24	完了
地域敬老会支援事業	26	完了
介護予防・健康づくり活動支援事業	27	完了
防災コミュニティ促進事業	28	完了
市民、活動、地域資源の縁結び事業	30	完了
上手に使おう集会所事業	31	完了
人権尊重平和事業	32	完了
宮代型観光推進事業	34	完了
宮代町の魅力推進事業（里山体験事業）	36	完了
市民の活動をつなぐインターネット放送局開局事業	38	完了
みんなで子育て！こども未来事業	39	完了
みやしろ定住促進事業	40	完了
宮代ファーマーズタウン推進事業	41	完了
道仏土地地区画整理周辺整備事業	42	一部未完了
東武動物公園駅西口周辺整備事業	44	一部未完了
東武動物公園駅東口周辺整備事業	45	一部未完了
まちなか起業創業支援事業	46	完了
障がい者の雇用創出事業	48	完了
宮代町農業の6次化推進事業	49	完了
明日の農業担い手支援事業	50	完了
宮代町農業生産基盤整備推進事業	52	完了
公共施設再編第2期計画	54	完了

人権尊重平和事業

[人権・平和推進事業、男女共同参画社会推進事業、人権教育推進事業、教職員研修奨励事業、小学校管理運営事業、中学校管理事業]

人権推進室 内線 210
 学校教育担当 内線 423
 生涯学習室 内線 431

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,841,000	3,114,324	22,000	465,000	0	0	2,627,324

◎ 平成29年度の事業実績(成果)

人権啓発活動の実施により差別や偏見による認識の誤りを解消するとともに、町民一人ひとりの人権意識を高めることができました。また、平和事業として朗読劇を開催し平和の重要性を伝えました。

男女がお互いの人権を尊重し、個性と能力を十分発揮でき、責任を分かち合う男女共同参画を実現するため、市民参加を軸に普及・啓発活動を行い意識の高揚を図ることができました。

<実施内容>

■人権啓発・教育研修会の実施

正しい人権感覚を養うために、地域住民や教職員を対象とした人権教育研修会を実施しました。また、各小中学校においても、様々なかたちでの人権教育に取り組みました。

<主な取り組み>

- ①人権教育推進協議会研修会 6月26日 コミュニティセンター進修館小ホール
- ②教職員人権教育研修会 8月21日 コミュニティセンター進修館小ホール
- ③人権啓発講演会

10月27日 町立図書館ホール
 講演テーマ：自分の可能性を求めて
 講師：成田真由美氏(パラリンピック水泳金メダリスト)

- ④人権問題合同研修会
 2月1日 コミュニティセンター進修館小ホール
 講演テーマ：人権の現状と課題
 講師：水島輝彦氏
 人権啓発DVD「秋桜の咲く日」視聴



■人権出前講座の実施

人権教育の普及・啓発を目的とし、差別のない明るいまちづくりについて学ぶ「みんなで語ろう身近な人権」を宮代町出前講座「まちしるべ」のメニューとしました。

■男女共同参画セミナーの実施

1月20日、コミュニティセンター進修館小ホールにおいて、男女共同参画セミナーを開催しました。

講演テーマ：主夫になってはじめてわかった主婦のこと
 講師：中村シュフ氏(主夫芸人・家政アドバイザー)

平成29年度男女共同参画セミナー

主夫 になってはじめてわかった **主婦** のこと

講師 中村シュフさん
(主夫芸人・家政アドバイザー)

夫婦の絆がより深まり、
家族がもっと「HAPPY」になる
方法をお話しします

1/20
土曜日

時間 14時～15時30分
 場所 進修館 小ホール
 一回券 有 (1月2日までにお申し込み)
 主催 宮中赤十字病院福祉推進部 啓発
 問合せ 総務課人権推進室(庁舎7階待合室口)
 電話0450-34-1111内線210

■男女共同参画情報誌「ふらふらぶ」の発行



■ 平和啓発事業の実施

平和事業の推進を目的として、次の事業を実施しました。

<主な取り組み>

- ①朗読劇「私たちと原爆 ～わすれてはならないあの日～」
7月29日 町立図書館ホール
- ②原爆写真展 7月19日～8月12日 町立図書館展示ホール



★ 後期実行計画の目標とその工程

市民が、まちづくりへの取り組みや普段の生活の中で、互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会の実現を図るため、人権尊重をまちづくりの基本に据えて、行政と市民が一体となって取り組んでいきます。

実施内容	実施主体	H28	H29	H30	H31	H32
人権教育研修会、出前講座の実施	総務課 教育推進課					
男女共同参画セミナーの実施	総務課					
平和パネル展、平和啓発事業の実施	総務課					

後期実行計画の成果目標(平成32年度)

住民意識調査のまちづくり満足度向上:「人権擁護、男女共同参画の取り組み」について
平成26年度 22.6% ▶▶▶ 平成32年度 40%

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
0	0	0	0	0	0	0

◎ 平成29年度の事業実績(成果)

「宮代町公共施設等総合管理計画」に基づき、将来の町立小中学校の規模と配置に関する適正化について検討を行いました。

<実施内容>

■小中学校の適正配置

小中学校の再編には相応の期間を要することから、「児童生徒数の推計」「学校施設の長寿命化」について検討を行いました。

また、教育だより「みやしろ」を通して、町立小中学校を取り巻く将来課題についてお知らせしました。

■借地の解消に関する方針の策定

借地の解消については、取得する施設や取得年度等を定めた具体的取得計画を作成しました。また、西原自然の森用地については、平成30年度中の購入に向けて地権者と交渉を進めました。

★ 後期実行計画の目標とその工程

近い将来に訪れる更新時期を前にして、人口減少、少子高齢化が進んでおり規模の面からも、財政負担の面からも現状と同様のフレームでの施設更新は適切ではありません。次代のニーズ、行政需要に応じた適正規模の施設へと再編・集約を図ることで持続可能な行政運営を目指します。

実施内容	実施主体	H28	H29	H30	H31	H32
公共施設等総合管理計画の策定	企画財政課	▶				
小中学校適正配置・公共施設再編	教育推進課 関係課	▶	▶	▶	▶	▶
借地の解消	企画財政課	▶	▶	▶	▶	▶

後期実行計画の成果目標(平成32年度)

公共施設等総合管理計画の策定

教 育 推 進 課

■ 本年度の成果

町民の皆様、ゆとりと生きがいのある充実した生活を送っていただけるよう、また、自ら学び、豊かな感性と創造性に富み、地域社会に貢献できる21世紀を担う心豊かな人材の育成が図られるよう、「宮代町教育振興基本計画（H28-32）」に掲げる基本理念「憧れを未来につなぎ、生きる力をはぐくむ宮代教育」を目指して、各種事業に取り組み、次のような成果をあげることができました。

1. 教育総務・学校教育

町独自に非常勤講師を各学校に配置し、児童生徒一人ひとりを大事にするきめ細やかな学習指導を行い、児童生徒の学力向上に着実な成果をあげることができました。また、体力面でも「埼玉県新体力テスト」の結果から本町の児童生徒は高い水準を保っており、須賀中学校が5年連続で埼玉県体力向上優良校となりました。さらに、「心の教育」についても、郷土資料「島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山」を作成活用し、道徳教育の充実を図りました。

小中学校一貫教育は、14年目を迎え各中学校区で地域性や実態に応じて、教師による合同研修会や授業研究会、中学校生徒による小学校での体育支援や学習支援等も行われるようになり、特色ある教育活動が展開されました。その成果として、島村盛助氏を顕彰する英語活動発表会では、小・中学生の英語を学ぶ意欲を育てるとともに、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の向上などを図ることができました。

環境教育においても、兄弟関係また学校内で内容が引き継がれ、家庭において省エネ活動に課題意識をもって取り組むことにより、児童だけでなく家族全体の環境意識の向上を図ることができました。

特別支援教育においては、各校に特別支援学級（知的、自閉・情緒）を、また難聴・言語障害通級指導教室を1教室設置し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図ることができました。

学校運営においては、学校の自己評価、関係者評価、保護者アンケート等を公開することにより、学校課題を学校だけでなく保護者、地域とも共有し、新たな目標に地域ぐるみで取り組むという地域・家庭・学校が一体となった取り組みを進めました。また、学校評議員会の充実を図り、その提言や意見を活用し地域の中で特色ある学校づくりを目指すことができました。

不登校対策事業では、さわやか相談員やボランティア相談員、教育委員会事務局内に配置されている教育相談員、さらにはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力して対策に取り組み、登校状況が改善されたケースも見られました。

安全対策では、地域の防犯ボランティアの方々との連携により、児童生徒への交通事故や不審者に対する安全確保に努めました。

小中学校施設については、小学校の2年生から6年生と中学校の1年生と2年生の普通教室、各小中学校の音楽室及び保健室にエアコンを設置し、学習環境の改善を図るとともに、各小中学校における防犯カメラの稼働などにより、安心安全な教育環境の確保に努めました。また、教育系ネットワーク「校務支援システム」「小中学校ホームページ管理システム」の本稼働により、小中学

校の管理運営業務の効率化を図りました。

学校給食では、地産地消の推進と児童生徒の郷土理解を深めるため、地元産の食材の活用を推進しました。平成29年度には米類23.4トン、野菜等6.8トン、合わせて32品目、30.2トンを使用しました。

2. 生涯学習

生涯学習のまちづくりを進めるため、みやしろ大学、町民文化祭、成人式をはじめとした各種事業を開催しました。

みやしろ大学では、運営委員の協力のもと、健康、食、音楽など、多様なテーマで企画された計8講座に、延べ1,368人が参加され、高齢者の生きがいや健康づくり、仲間づくりのきっかけに効果をあげることができました。

宮代の秋の祭典として定着した町民文化祭においては、舞台発表や展示出展などに延べ3,002人が参加し、日頃の活動成果を発表されました。また、公益財団法人三井住友海上文化財団の助成を受けて開催した文化公演会では、本格的なクラシック音楽の演奏を378人が堪能されました。

成人式においては、新成人自らが実行委員となり、企画から準備、運営まで携わり、233人の二十歳の思い出を作り上げてくれました。

青少年健全育成においては、平成28年度に全面改訂を行った「新みやしろ郷土かるた」を用いたかるた大会に、過去最高となる80チームが出場し、競技を通して郷土愛と仲間との絆の大切さを学びました。

また、日本工業大学との連携により開校している「子ども大学みやしろ」には、57人の児童が参加し、普段の学校生活では得ることができない学びや体験、交流の機会を提供し、子どもたちの学びの意欲の高揚等を促すことができました。

3. 町立図書館

町立図書館については、指定管理者の(株)図書館流通センターにより、利用環境の改善などのサービス向上に努めるとともに、町内の小中学校図書室への支援活動にも引き続き積極的に取り組みました。

自主事業においては、映画会、夏休み科学遊び教室、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを活用したコンサートの定期開催など、子どもから高齢者向けの数多くの事業を実施しました。

さらに、読書感想文教室や子ども司書講座、中学生を対象としたビブリオバトルなど、図書資料を活用した事業を通じて、児童・生徒の読書活動の推進に大きく寄与しました。

また、多くの町民ボランティアの協力のもと、乳幼児を対象とした「すいようえほんの会」や「ブックスタート」など、小さなお子さん連れの保護者の方にとっても身近な図書館となるように努めました。

4. スポーツ振興

町民の健康づくりや親睦と交流・競技力の向上などを目的に、体育協会、レクリエーション協会と連携協力し、町民体育祭や町民綱引大会、町民スポーツ大会等の様々な事業に取り組みました。このうち町民体育祭においては、平成28年度に体育協会が中心となり立ち上げた町民体育祭活性

化検討会からの活性化についての提案書をもとに、新種目の導入や競技方法等の見直しを図り、20チーム（47地区）の参加のもと町民体育祭を開催しました。

総合運動公園では、第2期の最終年度を迎えた指定管理者ミズノグループが、自主事業のさらなる拡大を図り、水泳においては9つのクラスで27,785人、テニススクールの2つのクラスに6,949人のほか、膝・腰痛体操教室やヨガなどの健康に関する教室や骨密度の測定会など、スポーツだけでなく、健康の維持・増進の面での各種の事業に多くの方々の参加がありました。

体育施設の利用については、総合運動公園では年間の利用者総数が217,955人となり、4年連続で20万人を超えるとともに、過去最高を更新しました。また、宮東テニスコートなどのグラウンドでは延べ70,534人、学校の体育館や校庭での学校開放においては39,637人の利用があり、多くの方々のスポーツ、健康づくりの場として活用をいただくことができました。

また、スポーツ推進委員が中心となって企画運営を実施した小学生のためのスポーツ教室「あそびと運動（トライ及びチャレンジ）」には、延べ464人が参加し、スポーツ少年団への委託事業として実施した「少年少女スポーツフェスティバル」や「ロードレース大会」と併せて、小学生のスポーツを通じた交流の促進を図ることができました。

5. 文化財保護

文化財保護事業では、ふるさと納税制度を活用し文化財案内板・解説板を道仏遺跡と菅聖公碑の2箇所に設置するとともに、新たに町指定文化財として和戸教会資料を指定することにより、地域の歴史、由来を知っていただいたり、貴重な文化財の保護につなげることができました。

また、個人住宅の建設に伴い、姫宮神社遺跡及び道仏遺跡の発掘調査を実施しました。姫宮神社遺跡からは宮代町で初となる古墳の周溝4条が検出され、姫宮神社古墳群の一端を確認することができました。道仏遺跡からは以前の調査に引き続き、5世紀中頃から6世紀後半にかけての住居跡が44軒検出され、台地の先端部に立地する大型の集落跡の一端を確認することができ、貴重な遺跡の概要を把握することができました。

郷土資料館においては、町内の歴史や文化の一端を知っていただくために特別展や企画展を開催し、多くの方々に来館していただくことができました。特別展においては、これまでの調査で判明した道仏遺跡をテーマとして「古墳時代の拠点集落～道仏遺跡～」を開催するとともに、記念講演会を行い、出土した遺物から周辺地域との交流、渡来技術・文化を学んでいただける講演となりました。また、企画展では、「古文書にみる人々の暮らし2 寺社参詣」、「文化財案内板でめぐる宮代町」、「古文書にみる人々の暮らし3 弘化3年の水害」等を開催し、「文化財案内板でめぐる宮代町」では展示で紹介したコースを実際にめぐる歴史ウォークを行いました。

夏休みを中心とした各種の講座においては、「縄文土器づくり教室」、「かやぶき民家で聞く昔話」、「御朱印帳づくり体験講座」などを通じて、子どもをはじめ多くの町民の皆様に昔の暮らしや技術などを学んでいただきました。

■ 平成29年度後期実行計画

人権尊重平和事業	-----	32
公共施設再編第2期計画	-----	54

■ 本年度の主要事業

交通安全・防犯対策事業	161
不登校対策事業	162
小中一貫教育推進事業	162
町民みんなが先生推進事業	163
英語指導助手活用推進事業	164
小学校施設管理事業	164
小学校要準特別支援教育就学援助事業	165
小学校学力向上（基礎学力定着）推進事業	165
小学校環境教育推進事業	166
中学校施設管理事業	166
中学校要準特別支援教育就学援助事業	167
中学校学力向上（基礎学力定着）推進事業	167
学校給食運営管理事業	168
社会教育活動事業	169
人権教育推進事業	170
青少年健全育成事業	171
公民館管理運営事業	172
図書館管理運営事業	173
総合運動公園管理事業	176
社会体育施設維持管理事業	178
生涯スポーツ振興事業	179
文化財保護事業	181
埋蔵文化財発掘調査事業	182
資料館管理運営事業	183

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
577,000	454,010	0	0	0	0	454,010

〔主な実施内容〕

■新入学児童全員に防犯ブザーの配布

トラック協会から寄贈された防犯ブザーを新入学児童全員に配布しました。

■交通安全対策啓発用資料・防犯対策啓発資料の作成

小学校版として交通安全対策啓発用ポスターと作文を、中学校版として防犯対策啓発用ポスターと作文をつくり、そのポスターの中に標語も掲載しました。作成した児童生徒の創意工夫あふれるポスターや作文は、リーフレット「気をつけて」にまとめ、児童生徒全員に配布するとともに、ポスターは各学校及び進修館、ぐるる、保育園等の公共施設に掲示し、その啓発を図りました。

■「こども110番の家」の設置

「こども110番の家」は、現在120軒あります。

児童生徒の登下校時や放課後時において、不審者に出会ったり、不慮の危険に巻き込まれそうになったりしたときの駆込み拠点として、また、落雷や大雨、竜巻などの自然災害から一時的に身を守る避難所として、協力していただいております。

■学校安全体制推進「スクールガード」・「スクールガードリーダー」の設置

学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、安全で安心な学校を確立するため、児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関と連携しながら、各学校・地域で、安全パトロール（スクールガード）等を組織（小学校4校267人）しています。また、県からスクールガードリーダーの委嘱を受けた各小学校の代表が中心となって、学校間の連携を図りながら学校の巡回・指導、登下校時の見守り活動を行うなど実施体制の維持強化を図りました。

〔成 果〕

登下校指導及び交通安全対策啓発資料等の活用もあり、大きな交通事故はありませんでした。また、「こども110番の家」やスクールガード等の御協力により、不審者による重大な事件も発生しておりません。

スクールガードリーダーを中心に安全パトロールのボランティアの方々が、登下校時において毎日子供たちを見守り、安全を確保していただいているため、下校時における不審者情報も減少しました。また、子供たちの顔を地域の方々に知っていただいたり、コミュニケーションを深めたりするなど、地域の防犯意識も高まっています。

不登校対策事業

[学校教育担当]

決算書 P152

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
8,156,000	8,034,384	0	3,420,000	0	0	4,614,384

[主な実施内容]

各中学校に1名の県費助成相談員を配置したほか、町独自の体制としてボランティアの相談員を併せて1名ずつ配置し、児童生徒や保護者からの相談体制を継続して実施しました。また、委員会事務局内に教育相談員を引続き配置し、学校と委員会間の情報共有に努め、児童生徒や保護者へのフォローアップを実施しました。

[成 果]

平成29年度の不登校の児童生徒は24名でした。

ただし、学校に全く通えていないのではなく、相談室等へ登校しながら学校生活に徐々に慣れてきた傾向にあります。

また、学校の全教職員と中学校配置相談員(さわやか相談員)、ボランティア相談員、教育相談員が連携して児童生徒へのフォローに努め、登校ができるよう支援を行いました。さらに、県から派遣されたスクールカウンセラー2名の協力を得ながら、専門的な見地からの保護者への支援を行いました。

宮代町の全児童生徒に対する不登校児童生徒の割合は、小学校では0.21%、中学校においては2.55%で、中学校が県の平均を下回っています。

小中一貫教育推進事業

[学校教育担当]

決算書 P152

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,360,000	2,292,714	0	0	0	0	2,292,714

[主な実施内容]

■宮代町立小中学校一貫教育推進委員会の運営

宮代町立小中学校一貫教育推進委員会を2回実施し、その話し合いの結果を生かし、宮代町の小中一貫教育を推進しました。

須賀小・中学校では、「生きる力を育む小中一貫教育」を研修課題として、平成29年度は算数・数学を中心として小・中共通した目標や取り組みを設定しました。校長の交換講話、相互の授業参観、児童生徒の交流活動等を実施し、その成果を示すことができました。

また、東小学校・笠原小学校・百間中学校においては、昨年に続き、英語教育強化地域拠点事業の委嘱を県教委から受け、小・中・高を見通した英語カリキュラムの作成、小学校における英語教科化に向けた英語教材開発の研究を推進しました。また、小学校での出前授業や児童生徒の交流活動等を実施し、小・中の教職員がお互いの学校の教育活動等を理解し合うとともに、指導法等について話し合い、小中学校で目指す児童生徒像の具現化に向け、今後の学校の

教育活動に生かすことができました。

さらに、百間小学校・前原中学校では、平成18年度に実施した埼玉県教育委員会の研究指定「パイオニアスクール事業」以来、小・中の学習・生活面での連携を深めながら、小・中両校で作成している「家庭学習の手引き」の改善、中学生が小学生に学習ボランティアとしてサマースクールで支援を行うなどの児童生徒間交流、小中学校長の交換講話等を実施し、その成果を示すことができました。

■小中学校一貫英語教育の推進

全小学校に専属の日本人の外国語活動補助員を週2日配置し、小学校外国語活動の一層の推進を図りました。また、小学校では、担任が外国語活動補助員や英語指導助手（ALT）と連携し、英語活動の充実に向け取り組みました。外国語活動・英語教育推進委員会で夏期研修会を開催し、小中の英語担当教員やALTが参加し、模擬授業を実施しての研修会を行いました。

小学校6年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として、郷土の偉人「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、小学生と中学生が一堂に会して小中学校における英語の学習の成果を発表することができました。

■道徳教育の推進

郷土道徳資料として作成した島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山の三部作を、全小中学校で年間指導計画に位置づけ道徳の時間において活用しました。また、宮代道徳の日については、各校の取り組みのまとめを庁舎内に展示しました。これらの取組は、道徳授業公開、学校便りやホームページ等を通して、家庭や地域に各校の道徳教育として発信しました。

[成 果]

全中学校区において、地域の特性を生かした連携を図り、小中一貫教育を推進しました。特に、教職員間の交流では、小・中学校の教員がお互いの学校の教育活動を理解し合うとともに、指導方法等について話し合い、それぞれの学校の教育活動に生かすことができました。また、児童生徒間の交流では、小学生の中学校生活への不安感の解消と、中学校生活に対する期待感の向上を図り、中一ギャップの解消につなげることができました。

英語教育においては、外国語活動補助員及びALTの積極的な活用を図るとともに、百間中学校区の研究の成果を他の中学校区でも活用し、指導の充実に生かすことができました。また、道徳教育においては、郷土資料を使つての授業を計画的に実施し、郷土愛をはぐくみ、道徳の授業に対する児童生徒の興味・関心を高め、心の教育を推進することができました。また、研究授業を通して、道徳教育の授業力向上に結びつけることができました。

町民みんなが先生推進事業

[学校教育担当] 決算書 P152

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
881,000	814,893	0	418,000	0	0	396,893

【主な実施内容】

「町民みんなが先生」制度により、部活動で13名の方々が中学生の指導を行いました。

【成 果】

児童・生徒が町民の方々の優れた技術や知識に触れることにより、学習意欲や向上心が培われました。また、町民の方々と児童・生徒との触れ合いの場ともなり、地域に開かれた学校づくりが一層推進されました。

英語指導助手活用推進事業

[学校教育担当]

決算書 P154

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,160,000	12,160,000	0	0	0	0	12,160,000

【主な実施内容】

町内中学校に英語指導助手を各校1人ずつ配置するとともに、小学校に英語指導助手を1名配置し、小学校への派遣を月3～5日程度計画的に行い、指導にあたりました。また、夏季休業中にも英語スピーチ大会に向けた指導をしました。さらに、小中学校の英語担当教員を対象とした夏季研修会を実施しました。

【成 果】

小学校においては、英語活動・英語科学習を通して英語の音声にたくさんふれながら、他国の文化を知る国際理解教育が推進されました。

中学校においては、英語を使って互いの気持ちや考えを伝え合い、具体的な場面や状況にあった適切な表現を自ら考えて言語活動ができるようになるなど、コミュニケーション能力を高めることができました。また、「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、小・中学校における英語の学習の成果を発表することができました。

小学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P158,160

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
208,330,000	168,828,115	32,092,000	0	83,100,000	1,997,524	51,638,591

※平成28年度からの繰越分を含みます。

【主な実施内容】

■町内各小学校の施設改修・修繕

主なもの

内 容	設置台数	金額(円)
エアコン設置工事(全小学校)【繰越明許】	60基	106,913,911

[成 果]

町内小学校の適正な施設管理のため、学校の環境整備を行いました。特に国の交付金を活用して全小学校の2年生から6年生の普通教室と、音楽室及び保健室にエアコンを設置し、学習環境の改善を図ることができました。

小学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P162

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,518,000	10,438,527	328,000	63,000	0	0	10,047,527

[主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な児童の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童又は特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

[成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。就学援助費支給者は136名(8,302,327円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は19名(599,600円)となりました。

加えて、翌年度新小学1年生・中学1年生となる新入学児童生徒の保護者に対して、入学準備のための学用品費の事前支給を今年度から開始しました。事前支給者は35名(1,536,600円)となりました。

小学校学力向上(基礎学力定着)推進事業

[学校教育担当]

決算書 P162

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
20,755,000	17,719,362	0	0	0	10,000,000	7,719,362

[主な実施内容]

■非常勤講師の配置

非常勤講師の配置を1校あたり2人、全小学校で8人配置し、学習内容や児童の状況に応じたきめ細やかな指導を行いました。

[成 果]

非常勤講師の配置により、担任と協力しながらチームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習効果が期待できる学習形態を柔軟に取り入れ、個に応じたきめ細やかな指導を充実させることができました。特に算数の指導において、各学校とも担任と非常勤講師が連携を図

り、児童の伸びや課題を明確にし、児童一人ひとりの実態に応じた指導を行うことで、基礎・基本の定着を図ることができました。

小学校環境教育推進事業

[学校教育担当]

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,000	0	0	0	0	0	0

[主な実施内容]

各校の代表児童生徒による宮代町子ども環境会議を実施し、話し合った内容を踏まえた環境対策に各小中学校で取組ました。

[成 果]

平成29年12月12日に進修館で開催した「宮代町キッズエコサミット」には、小学校5・6年生全員と中学校の代表生徒が参加し、各校で取り組んだ環境への取り組みを紹介しました。今年度は、埼玉県環境部の方を講師に招き、「食品ロス」についてパネルディスカッション方式で御講演いただきました。無駄を減らし環境を大切にしようとする意識の高まりを、参加した児童・生徒の意見や感想から聞くことができました。

また、自分たちで取り組むことができる環境への取り組みについて話し合う「子ども環境会議」を開催し、電気、水道がなかった江戸時代にタイムスリップしたつもりで、節電、節水に取り組む日である「宮代江戸の日」を、恒例の7月第一土曜日に実施しました。町内全小中学生が取り組み、「網戸で軽装」「ろうそく作戦」など子供たちが自ら考えた取り組みが見られ、環境への意識が高まっています。

また、1月は、「宮代冬の江戸の日」として、町内全小中学生が「運動をして体を温める」「重ね着をする」「湯たんぽを使う」などの取り組みが見られました。

中学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P166,168

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
128,559,000	99,085,113	19,647,000	0	38,700,000	1,448,522	39,289,591

※平成28年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■町内各中学校の施設改修・修繕

主なもの

内 容	設置台数	金額(円)
エアコン設置工事(全中学校)【繰越明許】	36基	53,152,889

[成 果]

町内中学校の適正な施設管理のため、学校の環境整備を行いました。特に国の交付金を活用して全中学校の1年生と2年生の普通教室と、音楽室及び保健室にエアコンを設置し、学習環境の改善を図ることができました。

中学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P168

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,351,000	12,437,107	222,000	0	0	0	12,215,107

[主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な生徒の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒又は特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

[成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。

就学援助費支給者は120名(12,150,585円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は6名(286,522円)となりました。

中学校学力向上(基礎学力定着)推進事業

[学校教育担当]

決算書 P168

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
18,622,000	16,968,272	0	0	0	10,000,000	6,968,272

[主な実施内容]

■非常勤講師の配置

非常勤講師の配置を、1校あたり2人、全中学校で6人配置し、学習内容や生徒の状況に応じたきめ細やかな指導を行いました。

[成 果]

非常勤講師の配置により、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習効果が期待できる学習形態を柔軟に取り入れ、学習指導を充実させることができました。

その教科が苦手な生徒や理解に時間がかかる生徒等、個別に支援が必要な生徒への指導を充実させることができました。特に数学に関しては、少人数指導や習熟度に応じた指導等を充実させ、生徒の基礎学力の定着及び学力の向上において成果を得ることができました。

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
308,251,000	308,137,704	0	0	0	112,712,758	195,424,946

[主な実施内容]

安全でおいしい給食を実施するために、献立等について話し合う宮代町学校給食研究委員会を6回、給食に使う物資について検討する物資検討会を11回開催しました。また、給食の計画や実施内容など、給食に関して客観的な立場から審議する宮代町学校給食運営審議会を1回開催しました。

また、特定の食材についてアレルギーをもっている子供に対し、その食材を使用しない「除去食」や「代替食」の提供によるアレルギー対策を実施しました。

■学校給食における宮代産農作物の使用状況

年 度	29年度	28年度	27年度
品 目 数	32品目	35品目	36品目
使 用 量 (米・野菜等)	米 23.4 トン 野菜等 6.8 トン	米 22.3 トン 野菜等 8.7 トン	米 23.0 トン 野菜等 10.2 トン

[成 果]

・食育の推進

児童生徒の健康面や発育に十分配慮するとともに、世界の料理や全国の郷土料理、季節の行事食、我が家の自慢料理などのメニューの工夫により、楽しく食べながら、社会性や豊かな人間性の育成にもつながるよう取り組みました。

・アレルギー対策

食物アレルギーのある児童生徒に対して、除去食・代替食の提供を行いました。

・放射線対策

学校給食に使用する食材産地(毎月)と学校給食に使用する食材の放射性物質測定(毎週)を行い、その結果を公開しています。

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,131,000	1,720,992	0	0	0	813,656	907,336

〔主な実施内容〕

生涯学習のまちづくりの実践として各種事業を行いました。

■みやしろ大学の開催

842,019円

60歳以上の方を対象とした「みやしろ大学」では、受講生が運営委員となって講座の企画運営に携わり、シニア世代の生きがいづくりや健康づくりにつながる講座やフィールドワークを計8回開催し、延べ1,368人が参加しました。

回	テーマ・内容(★=公開講座)	開催日	場 所	参加者数
1	元鉄道マンが語る、新幹線とリニア、鉄道事情よもやま話 ★	4月18日(火)	進修館大ホール	241人
2	ウォーキング ～久伊豆神社、花田苑、こしがや能楽堂～	5月16日(火)	越谷市	150人
3	キックマンアカデミー「めんつゆ」講座 ★	6月20日(火)	進修館大ホール	215人
4	スクエアステップ&レクリエーション体操	7月18日(火)	進修館大ホール、小ホール	149人
5	コンサートの時間～日工大・アワー～	9月12日(火)	日本工業大学学友会館	177人
6	県外研修～碓氷峠アプトの道・工場見学～	10月17日(火)	群馬県安中市方面	129人
7	宮代町の農業の6次産業化の取組～「紫」で宮代の農を鮮やかに！～★	11月14日(火)	進修館大ホール	128人
8	①消費者トラブル・悪徳商法の実例と対処法★ ②差別や偏見をなくすために★	12月19日(火)	進修館大ホール	179人

■町民文化祭の開催

569,234円

(平成29年11月3日(金・祝)～11月6日(月)、平成30年2月4日(日))

宮代町文化協会が中心となって第39回宮代町民文化祭を開催し、舞台発表や制作教室に延べ1,467人、展示出展に延べ1,535人が参加しました。そのほか、文化公演会「アミューズ・クインテット コンサート」には、378人が来場しました。

■成人式の開催(平成30年1月7日(日))

251,564円

新成人による実行委員会の企画運営により式典及びアトラクションを開催し、233人が参加しました。

〔成 果〕

みやしろ大学の受講生を対象としたアンケートでは、82%の満足度を得ることができました。町民文化祭は、日頃の生涯学習活動の成果を発表する場として制作者や発表者の目標や励みと

なるとともに、鑑賞者が文化・芸術活動に参加するきっかけづくりとなりました。また、公益財団法人三井住友海上文化財団の助成事業として開催した文化公演会では、本格的なクラシック音楽を鑑賞することができました。

成人式では、恩師からのメッセージや新成人の決意発表等が行われ、新たな門出にふさわしい式となりました。

人権教育推進事業

[生涯学習室]

決算書 P170

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
923,000	812,702	0	0	0	0	812,702

[主な実施内容]

差別の解消に向けて、様々な人権問題を理解していただくために、広い世代にわたり研修、啓発活動を行いました。

■子ども人権講座の開催

40,000円

町内の小学校6年生全員を対象に子ども人権講座「目が見えなくなっても見えたもの」を開催し、258人が受講し、命の大切さについて学ぶことができました。

■人権文集（あおぞら第23集）の発行

94,886円

小中学校の児童生徒による人権作文・標語の作品集の作成と発表会を開催し、発表会会場校の5年生・6年生136人、一般30人が参加しました。

■宮代町人権教育推進協議会への助成

515,956円

人権教育の振興と明るい地域社会づくりのため、宮代町人権教育推進協議会の啓発、研修活動に対して助成を行いました。

[成 果]

子ども人権講座では、視力を失いながらも「あきらめないこと」「挑戦する気持ちを持ち続けること」を話していただきました。子どもたちにとって生きることの示唆をたくさん含んだ研修となりました。人権作文や標語の作成活動は、児童生徒一人ひとりが人権問題について考える機会となりました。

また、みやしろ大学においての人権に関する講座を実施するほか、県外研修においても車中での研修を行うことで、あらゆる年代の方に人権を考える機会を提供させていただいたことで、子どもから高齢者まで幅広い年代の方が、自分の大切さ、他の人の大切さを認識することができ、人権尊重の精神を養うことができました。

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
507,000	405,201	0	0	0	182,000	223,201

[主な実施内容]

■あそべんちゃーわーど(平成29年7月30日(日)) 26,018円

共栄大学教育学部との連携のもと、小学生を対象に山崎山の自然等を活かした各種体験事業を実施しました。学生が中心となった企画運営が行われ、50人が参加しました。

■子ども大学みやしろの開校 30,000円

日本工業大学及び東武動物公園と連携し、小学校4～6年生を対象として「子ども大学みやしろ」を開校しました。日本工業大学のキャンパス等を会場とし、大学の先生や専門家による特色ある授業により、子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供することができました。

講義名	期日	場所	参加者数
ふしぎな発電!	9月16日(土)	日本工業大学 電気電子工学科実験研究棟	50人
わりばし鉄砲を作ろう!	9月23日(土)	日本工業大学 物理実験研究棟	54人
わくわく動物大学!	10月21日(土)	東武動物公園	50人
プログラミングってどうやるの?	11月12日(日)	日本工業大学 情報工学科実験研究棟	51人

■新みやしろ郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた大会の開催 82,183円

宮代町や埼玉県の歴史、文化、風景、自然などを題材として制作された郷土かるたの大会を開催しました。平成29年3月に完成した新みやしろ郷土かるたを使用した初めての大会では、過去最多の80チーム240人が参加しました。多くの子どもたちが一堂に会し、ルールを守り、楽しく競い合いながら、仲間づくりや郷土愛の育成をはかることができました。

大会名	期日	場所	対象	参加者数
新みやしろ郷土かるた大会	7月2日(日)	進修館大ホール	小学校1～6年生	240人
彩の国21世紀郷土かるた宮代大会	1月21日(日)	進修館大ホール	小学校4～6年生	74人

[成 果]

子ども大学みやしろでは、なぜを追究する「はてな学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」を基本とした授業を行うことにより、学校では教えてもらうことができない知識や体験が得られ、創造性豊かな子どもの育成に寄与することができました。

郷土かるた大会は、子どもたちが互いに助け合い、競い合うなかで、郷土愛の育成と、仲間の大切さについて学ぶ場とすることができました。

いずれの事業も、学校とは異なる活動を異年齢集団の中で体験し、子どもの協調性や社会性、生きる力を養い、町の魅力ある文化や環境などを身近に感じてもらうことができました。

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,084,000	5,925,792	0	0	0	2,407,050	3,518,742

[主な実施内容]

■公民館の利用状況

平成29年度は、308日開館し3館で合計49,948人が利用しました。

		29年度 A	増減 A-B	28年度 B	27年度
百間公民館	利用回数	1,422	15	1,407	1,419
	利用人数	16,196	△979	17,175	17,495
川端公民館	利用回数	1,982	26	1,956	1,906
	利用人数	17,731	△771	18,502	18,355
和戸公民館	利用回数	1,732	21	1,711	1,670
	利用人数	16,021	△1,496	17,517	18,058
合 計	利用回数	5,136	62	5,074	4,995
	利用人数	49,948	△3,246	53,194	53,908

■施設の主な工事

工 事 名	契 約 期 間	金 額 (円)
和戸公民館第2駐車場等整備工事	平成29年9月～平成29年11月	2,305,800

[成 果]

学習や文化活動等の場を提供することで、地域住民の主体的な学習活動が促進されました。また、自治会活動など、地域活動・地域づくりの拠点として地域の活性化に寄与しました。

また、和戸公民館については、県道拡幅工事に伴う駐車場面積の縮小を補うため、新たな駐車場を整備しました。

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
84,753,000	84,744,200	0	0	0	20,590	84,723,610

【主な実施内容】

指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行いました。

■図書館の利用状況

	29年度 A	増減 A-B	28年度 B	27年度
開館日数(日)	291	2	289	288
貸出者数(人)	97,623	△918	98,541	102,320
うち広域対象	34,605	△2,549	37,154	38,264
貸出冊数(冊・点)	358,647	△11,882	370,529	388,307
うち広域対象	128,254	△15,148	143,402	147,669

■図書等の所蔵数の状況

	29年度 A	増減 A-B	28年度 B	27年度
図書(冊)	257,112	2,113	254,999	254,433
うち一般書	196,708	1,201	195,507	195,777
うち児童書	60,404	912	59,492	58,656
視聴覚資料(点)	8,043	△33	8,076	8,048
合計	265,155	2,080	263,075	262,481

■各種行事等の実施状況

童話と絵本の会や子ども映画会などボランティア団体等の協力による月例(定期)行事のほか、デジタル郷土資料を活用した郷土史講座、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したコンサートなどが開催され、延べ4,572人が参加しました。

【月例行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
童話と絵本の会	全14回	233人
紙芝居と折り紙	全11回	278人
おはなし会	全21回	176人
子ども映画会	全10回	290人
ライブラリーシアター	全12回	519人
すいようえほんの会～0.1.2.3～	全24回	603人
ベビーマッサージ&あかちゃんえほんの会	全7回	107人
キッズタッチ&えほんの会	全5回	65人
ブックスタート事業	全12回	249人
ヴァイオリン名演奏を満喫する会	全12回	128人

【定例季節行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
子ども読書の日記念行事「としょかんこどもまつり」	4月30日(日)	300人
第13回朗読会	5月28日(日)	35人
夏休み親子で楽しむおはなしと映画の会	全3回(7月～8月)	118人
夏休み子ども映画会	7月23日(日)、8月27日(日)	35人
夏休み子ども平和映画会	8月3日(木)	19人
夏休み科学あそび教室	8月4日(金)	30人
夏休みおはなし工作会	8月18日(金)	12人
夏休み読書感想文教室	8月19日(土)	40人
落語を楽しむ会(DVD)	9月18日(月・祝)	28人
図書リサイクル市	10月7日(土)、10月8日(日)	100人
ヴェートーベンの第九を満喫する会	12月17日(日)	14人
クリスマスお楽しみ会	12月24日(日)	120人
ぬいぐるみおとまり会	1月7日(日)	33人
第24回大人も楽しめる紙芝居の集い	1月28日(日)	45人
第23回おとなのための昔話と音楽のつどい	2月25日(日)	140人
雑誌リサイクル市(除籍雑誌無料頒布会)	3月3日(土)、3月4日(日)	100人
春のお楽しみ会	3月10日(土)	50人

【特別企画行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
デジタル郷土資料で郷土史を学ぼう!	全3回(4月～6月)	133人
子ども司書講座～図書館マスターになろう!～	全8回(6月～11月)	52人
親子で挑戦!調べ学習ワークショップ	7月15日(土)、7月22日(土)	20人
室内楽ミニコンサート	8月6日(日)	27人
夜のこわ～いおはなし会	8月27日(日)	100人
ナクソスで楽しむ「蜜蜂と遠雷」	9月10日(日)	16人
耳で聞いて楽しむ「古事記」再演	全3回(10月～1月)	173人
はじめての万葉集	11月3日(金・祝)	23人
ビブリオバトル～ティーンズ編～	11月12日(日)	40人
バリアフリー映画会	11月23日(木・祝)	51人
初笑い!昭和の落語名人芸を聴く会	1月8日(月・祝)	51人
講座「チャレンジ!野菜づくり」	3月11日(日)	19人

■施設の主な工事

工 事 名	契 約 期 間	金 額 (円)
密閉式膨張タンク等交換工事	平成29年10月～平成29年12月	1,112,400
冷温水ポンプ等交換工事	平成29年12月～平成30年2月	853,200

【成 果】

指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用と町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供によって、利用者アンケートの総合評価においても、「満足」「おおむね満足」を合わせた好評価を回答者の88%の方からいただきました。

また、近年、減少傾向が続いている貸出者数及び貸出冊数については、利用者アンケート等を踏まえた利用環境の改善や各種行事等の積極的なPRに取り組んだ結果、広域利用を除く町民の貸出者数等は、前年度比で増となりました。

さらに、司書スタッフによる小・中学校図書室の運営支援等のほか、平成29年度に内容を見直し（拡充）した「子ども司書講座」や「ビブリオバトル」等の小中学生対象事業の実施により、児童・生徒の読書活動の増進に大きく寄与しました。

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
70,612,000	70,603,720	0	0	0	193,880	70,409,840

〔主な実施内容〕

■総合運動公園の利用状況

平成29年度は303日開園し、217,955人が利用しました。

		29年度 A	増減 A-B	28年度 B	27年度
テニスコート	利用件数	3,104	△201	3,305	3,342
	利用人数	25,450	△3,199	28,649	26,729
多目的広場	利用件数	151	△13	164	125
	利用人数	8,711	△814	9,525	9,445
野球場	利用件数	234	29	205	199
	利用人数	16,668	3,185	13,483	10,874
ソフトボール場	利用件数	196	10	186	156
	利用人数	4,902	△908	5,810	6,275
メインアリーナ	利用件数	1,401	113	1,288	1,101
	利用人数	30,650	△123	30,773	26,899
サブアリーナ	利用件数	1,286	△36	1,322	1,293
	利用人数	21,486	3,837	17,649	17,504
剣道場	利用件数	590	△17	607	611
	利用人数	15,742	△1,423	17,165	18,766
柔道場	利用件数	473	4	469	549
	利用人数	7,232	△478	7,710	6,645
弓道場	利用件数	1,136	5	1,131	1,278
	利用人数	4,744	△428	5,172	5,470
会議室	利用件数	372	△7	379	422
	利用人数	4,024	△337	4,361	4,840
研修室	利用件数	370	79	291	303
	利用人数	6,505	494	6,011	7,247
トレーニング室	利用件数	14,457	1,351	13,106	12,859
	利用人数	14,457	1,351	13,106	12,859
室内プール	利用件数	35,231	848	34,383	37,291
	利用人数	57,384	3,426	53,958	57,685
合計	利用件数	59,001	2,165	56,836	59,529
	利用人数	217,955	4,583	213,372	211,238

■教室等の自主事業実施状況

各教室の参加人数

教 室	29 年度 A	増減 A-B	28 年度 B
水 泳	27,785	3,142	24,643
テ ニ ス	6,949	△867	7,816
体 育	2,290	541	1,749
新 体 操	938	△237	1,175
フ ッ ト サ ル	742	△195	937
バスケットボール	1,369	154	1,215
バドミントン	429	△15	444
健 康 教 室	1,034	451	583
ヨ ガ	1,077	△56	1,133
卓 球	1,144	126	1,018
ラージボール卓球大会	564	37	527
ミズノレクリエーション	194	△27	221
そ の 他 教 室	1,136	△469	1,605
合 計	45,651	2,585	43,066

■施設の主な修繕

内 容	時 期	金額 (円)
総合運動公園プール可動式屋根制御機器交換修繕工事	平成 29 年 6 月～平成 29 年 7 月	2,624,400
総合運動公園漏水調査及び給水管敷設工事	平成 29 年 7 月～平成 29 年 8 月	1,814,400

[成 果]

施設の貸出では、指定管理者であるミズノグループの水泳教室をはじめとする自主事業の取り組みの結果、室内プールでは対前年度比で3,426人増となるなど、全体では4,583人増の217,955人の方に施設を利用していただきました。

自主事業においては、水泳やテニス、体育など各種のスクール・大会を開催するほか、膝・腰痛体操、らくらくサーキット健康体操といった健康教室など、スポーツ教室だけにとどまらず、健康の維持・増進に関する事業にも取り組み、子どもから高齢者までのスポーツに親しむ機会の創出と健康増進、施設の有効活用を図りました。

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,851,000	3,819,172	0	0	0	191,510	3,627,662

[主な実施内容]

■町内グラウンド・テニスコートの利用状況

平成29年度は359日開所し、70,534人が利用しました。

		29年度 A	増減 A-B	28年度 B	27年度
前原グラウンド	利用件数	391	30	361	379
	利用人数	10,960	2,287	8,673	9,844
東 条 原 グ ラ ウ ン ド	利用件数	353	△58	411	530
	利用人数	6,484	△566	7,050	9,817
東 グ ラ ウ ン ド	利用件数	569	19	550	578
	利用人数	15,632	△2,122	17,754	19,136
宮東グラウンド	利用件数	608	5	603	587
	利用人数	20,785	1,401	19,384	17,629
宮 東 テ ニ ス コ ー ト	利用件数	1,738	△187	1,925	1,646
	利用人数	15,010	△2,129	17,139	15,958
アーチェリー場	利用件数	1,663	336	1,327	1,310
	利用人数	1,663	△35	1,698	3,302
合 計	利用件数	5,322	145	5,177	5,030
	利用人数	70,534	△1,164	71,698	75,686

[成 果]

町民の身近なスポーツ・レクリエーション施設として、個人・スポーツ団体には、ソフトボールやテニスをはじめ、さまざまなスポーツの活動場所に利用され、町民の健康増進・体力向上が図られました。

また、自治会等には、地域の夏祭りや防災訓練の場として利用され、地域コミュニティの活性化が図られました。

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,142,000	2,080,157	0	0	0	332,400	1,747,757

【主な実施内容】

町民体育祭、町民スポーツ大会、町民綱引大会など大会のほか、児童のスポーツに触れる機会として遊びと運動を行うなど、子どもから高齢者まで多くの町民がスポーツに親しめる機会を設けました。

■第45回町民体育祭 1,014,600円

幼児から高齢者まで全町民が参加できるスポーツの祭典として、町民の健康増進と町民相互の親睦を図ることを目的に企画し、20チーム(47地区)1,107人が参加しました。

期日 10月8日(日)

会場 宮代町総合運動公園 多目的広場他

■町民スポーツ大会 550,000円

宮代町体育協会へ委託し、町民の健康づくりと競技力の向上のため、各種スポーツ大会を8種目実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加チーム 参加者数
野球の部	7月～8月	総合運動公園野球場	18チーム
硬式テニスの部	9月	総合運動公園テニスコート	34人
ソフトボールの部	10月	総合運動公園ソフトボール場他	14チーム
サッカーの部	12月	総合運動公園多目的広場	3チーム
剣道の部	10月	須賀小学校体育館	91人
バレーボールの部	11月	総合体育館メインアリーナ	8チーム
卓球の部	11月	笠原小学校体育館	84人
弓道の部	1月	総合体育館弓道場	20人

■第34回宮代町綱引大会 78,168円

町民の健康づくりと親睦・交流を図るため、綱引大会を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加者数(チーム)
宮代町綱引大会	12月3日(日)	総合体育館メインアリーナ	356名(34チーム)

■少年少女スポーツ振興事業

100,000 円

幼児から小学生までを対象に、スポーツに親しむ機会及びスポーツを始める機会を提供し、また、スポーツを通じた交流を促進するための事業を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加者数
少年少女スポーツフェスティバル	7月30日(日)	総合運動公園 メインアリーナ	436人
ロードレース大会	2月10日(土)	総合運動公園	287人

■その他の事業

337,389 円

事業名	会場	目的・内容	参加者数
第20回ファミリーハイキング 10月21日(土)	東京都 高尾山	ハイキングの楽しさや素晴らしい風景を味わい、家族のふれあいを深めました。	39名
第43回年少者スキー教室 1月13日(土)～14日(日)	日光湯元 スキー場	小学校4～6年生を対象に、集団生活における協調性の養成とスキーの初歩的技術の習得を図りました	185名
スポーツフィールド 5月～3月	総合体育館 サブアリーナ	日頃の運動不足を解消し、スポーツに親しむ機会を提供するために、主に成人を対象とした教室を9回実施しました。	延べ50名
あそびと運動(トライ) 5月～6月(春季) 10月～11月(秋季)	総合体育館 サブアリーナ	からだを動かすことの楽しさを知り、「動きのもと」をやしなう下地を作ることを目的に、小学校1～2年生を対象とした教室を実施しました。(各季5回)	春季 延べ78名 秋季 延べ63名
あそびと運動(チャレンジ) 4月～3月	総合体育館 ほか	子どもの運動能力向上を目的に、小学校3～4年生を対象とした教室を実施しました。(15回)	延べ323名

[成 果]

小学生を対象としたあそびと運動教室から大人向けのスポーツフィールドまで、幅広い世代が参加できる事業を展開し、町民がスポーツに親しめる機会を創出することができました。

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,165,000	1,105,357	0	0	0	634,200	471,157

〔主な実施内容〕

文化財の保護、保存、管理、文化財意識の啓発普及及び指定文化財の保護団体に補助を行いました。

■文化財保護委員会の運営 166,300円

文化財の指定を審議するため文化財保護委員会を開催し、町指定文化財候補の調査、審議等を行いました。また、古文書や書籍類92点、書棚、説教講壇などを一括とした和戸教会資料を、町指定文化財第34号として指定しました。

■調査

東部地区文化財担当者会による東部地区の古代(遺跡)および信仰(神社)に関する調査を平成28年度に引き続いて行いました。

■文化財案内板の設置 628,668円

ふるさと納税を活用し、道仏遺跡と菅聖公碑(資料館敷地内)に、その歴史や由来を記した案内板・解説板を設置しました。

■指定文化財保存事業への補助 17,000円

指定文化財を保護、保存することを目的に、指定文化財所有者に対し補助を行いました。

埼玉県指定有形文化財五社神社 本殿防災設備保守点検

■特別展関連講座 20,000円

特別展「古墳時代の拠点集落～道仏遺跡～」にあわせ、駒澤大学文学部教授の酒井清治氏を講師に迎えて記念講演会「東国の渡来人と宮代」を開催しました。22名の参加がありました。

〔成 果〕

文化財案内板を設置することで合計38基となり、これまでの設置したものと合わせて広く地域の歴史、由来を知っていただくことができました。また、和戸教会資料を町指定文化財として指定することにより、宮代町の歴史や文化財に興味や愛着を持っていただくことができ、郷土宮代に対する理解を深めていただくきっかけとすることができました。

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
15,101,000	14,816,020	3,828,000	1,914,000	0	0	9,074,020

〔主な実施内容〕

文化財保護法の規定により開発行為に係る事前の記録保存を目的とした発掘調査、整理作業を行いました。

■開発行為等に係る埋蔵文化財の照会

開発行為に係る事前の埋蔵文化財所在有無の確認として合計354件の照会がありました。

■文化財保護法の規定による発掘届の提出

文化財保護法第93条の規定に係る発掘届が12件提出され、届出に対する指示を行いました。発掘届の内容及び指示事項については、以下のとおりです。

発掘届の原因 個人住宅7件・工場兼住宅建設1件・分譲住宅1件・給水管敷設1件
店舗建設1件・フェンス建設1件

指示事項 発掘調査2件、工事立会6件・慎重工事4件

■埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査

929,260円

8件、総面積347㎡で試掘調査を実施しました。

調査の原因 個人住宅6件・工場兼住宅建設1件・店舗建設1件

■埋蔵文化財の発掘調査

8,422,370円

姫宮神社遺跡と道仏遺跡で発掘調査を行いました。姫宮神社遺跡では縄文時代早期の炉穴が3基、土坑が1基、古墳の周溝4条、中近世の土坑が1基検出されました。道仏遺跡では古墳時代中期から後期の住居跡が44軒、土坑が17基検出されました。

■埋蔵文化財の遺物整理

発掘調査で出土した遺物の整理作業として、昭和63年度地蔵院遺跡では土器や石器の実測や拓本、トレース作業、復元作業、平成26年度山崎遺跡では拓本・実測作業などを行いました。

〔成 果〕

姫宮神社遺跡の発掘調査では、宮代町で初となる古墳の周溝4条が検出され、姫宮神社古墳群の一端を確認することができました。道仏遺跡では、台地の先端部に立地する5世紀中頃から6世紀後半にかけての大型の集落跡が以前の調査に引き続き確認できました。

整理作業では、文化財調査報告書を刊行するための準備として遺物や図面の整理作業を進めることができました。

29年度予算 (円)	29年度決算 (円)	29年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
8,373,000	8,135,770	0	0	0	46,550	8,089,220

[主な実施内容]

資料館事業として、各種の展示、講座、教室等を開催しました。

■郷土資料館の利用状況

平成29年度は、284日開館しました。

29年度 A	増減 A-B	28年度 B	27年度
13,959人	△994人	14,953人	14,867人

■資料寄贈等

町民の方をはじめとした方々から、民具や古文書等10件の寄贈等がありました。

文化財、市町村史等の図書について、新規に約625冊が市町村等からの交換文献として寄贈されました。

■展示 町の歴史、文化の紹介

415,971円

区分	内 容	期 間	入館者数
特別展	「古墳時代の拠点集落～道仏遺跡～」	平成29年10月～12月	2,300人
企画展	「東部地区文化財担当者会巡回展 埼玉県東部地区の交通」	平成29年3月～5月	2,095人 (4・5月分のみ)
	「古文書に見る人々の暮らし2 寺社参詣」	平成29年5月～7月	2,100人
	「文化財案内板でめぐる宮代町」	平成29年7月～10月	4,336人
	「おひなさま」	平成30年1月～3月	2,381人
	「古文書に見る人々の暮らし3 弘化3年の水害」	平成30年3月～5月	747人 (3月末まで)

■各種講座・体験学習教室の開催

28,468円

事業名	内 容	参加者数
夏休みとっておき体験 「郷土資料館へ行こう」	小中学生を対象、7月27日～8月10日 計7回 縄文ペンダントづくり、まが玉づくり、しぼり染め、和とじノートづくり	延べ 116人
移築民家と 「アタラシイ」ゲキ14	9月23日、旧加藤家住宅の座敷において実施。町に伝わる昔話や伝説など、歴史的な題材を中心とした創作演劇	30人
縄文土器づくり 教室	小中学生対象、7月22日、8月25日の2日間 土器づくりと土器焼き体験	22人

かやぶき民家で 聞く昔話	8月5日、旧加藤家住宅座敷において、宮代おはなしの会スウスの協力により、民話や昔話を聞く会を開催した。	20人
琵琶の調べ	9月24日 旧加藤家住宅座敷において、薩摩琵琶奏者の杉浦本信氏等の協力により、薩摩琵琶の演奏や朗読、講談を聞く会を開催した。	35人
特別展講演会	11月11日 特別展「古墳時代の拠点集落～道仏遺跡～」関連講座として、「東国の渡来人と宮代」のタイトルで、駒澤大学文学部教授である酒井清治氏による講演。	22人
歴史ウォーク	10月14日 企画展「文化財案内板でめぐる宮代町」関連講座として、町域に設置されている文化財案内板とその周辺の文化財をめぐる歴史ウォークを開催した。	7人
歴史講座	3月18日 放送大学講師で白岡市教育委員会専門員でもある民俗学者・板垣時夫氏により、「埼玉東部低地の人々の暮らし2～漂着神と水神～」の演題で、埼玉東部地区の低地に住む人々の暮らしについての講演。	31人

■資料整理

330,252円

1. 町内から寄贈された古文書や歴史資料の整理を行いました。
2. 図書、古文書目録のデータ化、民具資料の整理、新聞資料の整理、目録化等を行いました。

■普及、啓発

学校教育への対応、受入れを実施しました。

1. 総合的な学習について、町内外の小中学校から7回の依頼があり、対応しました。
2. 中学生社会体験チャレンジ事業について、中学生8人を受け入れました。
3. 団体利用が26件ありました。
4. 職員派遣申請が8件あり、職員の派遣を行いました。
5. 資料の館内利用が20件ありました。
6. 5年次教員研修として、5人を受け入れました。
7. 博物館学芸員実習として1人を受け入れました。

[成 果]

特別展や企画展を開催し、町内の歴史や文化の一端を知っていただくことができました。

特別展では「古墳時代の拠点集落～道仏遺跡～」を開催し、道仏遺跡の発掘調査の成果とともに、古墳時代において道仏遺跡が周辺地域の中において拠点集落ともいえる存在であったその内容について紹介しました。企画展では収蔵品を中心に構成された展示や、全町博物館構想をもとにこれまで設置してきた文化財案内板とその周辺の文化財などについて紹介する「文化財案内板でめぐる宮代町」を開催しました。また、各種の講座や体験教室を通じて、町内の小中学生をはじめ多くの方々に昔の暮らしや技術などを学んでいただきました。